

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 全員協議会室
			担当職員 駒田
日 時	令和5年7月28日（金曜日）	開 議	午前 10 時 30 分
		閉 議	午前 11 時 27 分
出席委員	◎木村、○法貴、林、片山、山木、齊藤		
出席理事者			
出席事務局	井上事務局長、駒田主査		
傍聴者	市民 1 名	報道関係者 0 名	議員 1 名（小川）

## 会 議 の 概 要

10:30

### 1 開会

### 2 事務事業評価対象事業の選定

<木村委員長>

事務事業評価対象事業の選定について事務局から説明を。

[事務局主査説明]

<木村委員長>

前回の分科会で、各委員に対象事業の抽出をお願いした。今回は、各委員が事前に抽出した内容を記載した資料を配付しているので、その資料に基づき、事業ごとに各委員から抽出した理由や論点とされたい点などを報告願う。まずはバス交通関連経費から願います。

<法貴副委員長>

交通空白地等地域生活交通事業補助金に関して、公共交通対策特別委員会として各地域で実施されている地域主体型交通の取組を視察したが、ドライバー不足や使用されている車体の老朽化が気になった。こういった地域での事業を続けられるのであれば、補助を拡充し支援してはどうかと考えている。

<木村委員長>

バスの運行スケジュールや経路がどれだけ見直されているのかが不明であり、バス路線の決定方法などについて深掘りすべきではないかと思う。ほかに意見がなければ、次に道路維持経費について意見をお願いする。

<林委員>

道路維持経費に関して、アスファルト舗装の老朽化が原因で子どもが転倒したという事案も聞いており、拡充も見据えて確認できればと考えている。

<法貴副委員長>

道路維持修繕料について、道路が陥没している箇所や、ガードレールが設置されていない箇所など、地域からの要望に対応できていない箇所が多い。要望に対して予算が少ないと感じているので、拡充してはどうかと考えている。

<木村委員長>

次に、ＪＲ亀岡駅自由通路等施設管理経費について意見を願います。

<片山委員>

ＪＲ亀岡駅のエスカレーターが長期間停止している現状がある。しっかりと管理して利便性を高めることが必要だと思い、どのように管理しているのか現状の検証も含めて、拡充すべきか確認したい。

<木村委員長>

次に、公園緑地整備事業費について意見を願います。

<法貴副委員長>

工事請負費について、亀岡運動公園競技場の芝改修工事などを実施されていたが、競技場を囲むフェンスが老朽化して錆びている現状がある。予算の使い方を確認したい。

<木村委員長>

次に、農業事務経費については亀岡市土づくりセンターの関係で挙げたものである。毎年近隣住民から臭気に対する苦情があり、施設自体も老朽化しているため、いっそのこと移転すべきではないかと考えている。亀岡市土づくりセンターを今後どのように維持するのか検討すべき時期であり、後に挙げている畜産振興関係経費についても同様に、そういったことを検討するために予算を拡充すべきではないかと考える。次に、農業担い手づくり育成事業経費について意見を願います。

<片山委員>

集落営農組織に対する助成制度が令和４年度から削減された経過がある。集落営農組織は地域の集落営農を進める上でなくてはならない組織であり、効果を検証しながら、拡充してはどうかと考えている。

<木村委員長>

片山委員と同様の意見である。次に畜産振興関係経費であるが、先ほど述べた農業事務経費における亀岡市土づくりセンターの検証と同じ意図で挙げているものである。次に、林業生産振興事業経費について意見を願います。

<齊藤委員>

林業整備をしっかりとやっていかなければならないと思い挙げたものである。山林を保全するために森林施業を支援するに当たり、予算を拡充すべきと考える。

<木村委員長>

次に、林業管理事業経費について意見を願います。

<山木委員>

林業においては、ウッドショックの影響が続き木材の価格が高騰している。木材を切り出すためには林道が必要になってくるため、林道整備が重要である。また、林道松尾谷線が現在も通行できない状況であり、保津川下りにおける緊急時の通行路にもなっているため、一時的な補修工事ではなくしっかりとした整備をするため、拡充してはどうかと考えている。

<林委員>

山木委員の意見と同様に、林道松尾谷線が崩落したままであるのが気になっている。京都市右京区側は整備されているが、亀岡市側は整備できていない。また、林道を有効活用することにより新たな観光資源となる可能性もあり、拡充してはどうかと考える。

<木村委員長>

次に、商工業振興対策経費について意見を願います。

<法貴副委員長>

サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業が令和5年度に終了するというので、今後の発展につながる事業ではあるが、予算審査の際に執行部からオープンイノベーションセンター・亀岡における産学公連携の取組とは別に考えてほしいという話があった。同事業単独で見ると成果があったのか不明であり、不要ではないかと考える。見直しのために検証を行いたい。

<林委員>

商工業振興対策経費全体として内容を精査して検証することが必要であり、個別の事業によっては見直しが必要であると考えます。

<片山委員>

産学官連携事業補助金について、大変大きな支出であり、効果に見合うものであるかを考える中で、縮小も検討してはどうかと考えている。

<木村委員長>

産学官連携事業補助金は令和5年度にも予算がついているが、オープンイノベーションセンター・亀岡の開設に当たり最初の数年だけ市から補助金を交付し、その後は独自で運営されるものかと思う。サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業は昨年度の成果報告会に参加したが、事業の一環でドローンショーを実施された事業者が今年の亀岡平和祭保津川市民花火大会で同様のドローンショーを実施されると聞いている。

<齊藤委員>

サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業については、今年度が最終年度であるので、見直しの上減額などはできない。また、産学官連携事業補助金についても、当初から全体の金額が決まっている中で複数年度にわたって支出しているものであり、減額というのは厳しいのではないかと思います。

<木村委員長>

各事業に対する意見が出尽くしたので、事務事業評価対象事業を選定していきたい。バス交通関連経費については、デマンド交通に関して行政視察にも行ったため、より深掘りして検証していきたい。道路維持経費についても予算額が大きいので選定してもよいかと考えるがどうか。

<事務局主査>

道路維持経費は令和4年度にも選定している。

<木村委員長>

昨年度と同様の議論を避けるため、今回道路維持経費については対象としないこととする。次にJR亀岡駅自由通路等施設管理経費であるが、エスカレーターの関係のみであれば、対象事業に選定することは適当ではないと考える。

<齊藤委員>

エスカレーターについては、新型コロナウイルス感染症などの影響で部品が届かないことが原因と聞いている。

<木村委員長>

JR亀岡駅自由通路等施設管理経費は対象としないこととする。次に公園緑地整備事業費はどうか。

<法貴副委員長>

公園緑地整備事業費は少し拡充いただきたいのみであり、取り下げる。

<木村委員長>

次に農業事務経費であるが、こちらは取り下げて畜産振興関係経費において亀岡

市土づくりセンターについて検証していきたいがどうか。

<片山委員>

オーガニックビレッジ宣言も行い、草木と混合した肥料づくりなども進めていく中で、亀岡市土づくりセンターの位置づけは大きな議論になると思うが、決算の事務事業評価とどのように関連するかが不明である。

<齊藤委員>

亀岡市土づくりセンターの臭気やカラスの問題などは認識しており検討する必要があるが、決算審査とどのように関連づけるのか。地域こん談会などで毎年苦情があるにもかかわらず例年同じような予算がついているため、見直しを行うという認識でよいか。

<木村委員長>

その認識である。亀岡市土づくりセンターは場所移転なども含めて根本的に見直してほしいものであり、この機会に意見を言いたいと考えている。ほかに意見がなければ次に農業担い手づくり育成事業経費であるが、農業における担い手不足は喫緊の課題であり、将来のことを考えるとより力を入れるべきではないかと考える。対象事業としてはどうか。

<齊藤委員>

営農組合でも、運営方法によっては企業並みの給与・労働条件で従業員を雇用し、利益を上げているところもある。農業事業者の取り組み方次第であり、補助金ばかりに頼っていると成長しない部分もあるということに留意する必要がある。

<木村委員長>

林道管理事業経費はどうか。

<齊藤委員>

林道に関して注目されているのでよいと思う。

<法貴副委員長>

亀岡市森林組合の方からも、森林整備に向かうまでの道が整備できていないという意見をいただくことが多い。林道管理事業経費は対象事業としたいと考える。

<木村委員長>

事務事業評価項目は、「バス交通関連経費」「農業担い手づくり育成事業経費」「畜産振興関係経費」「林道管理事業経費」の4つとしてよいか。

(全員了)

<木村委員長>

決算審査を行うに当たり、現地視察として亀岡市土づくりセンターを視察したい。夏は臭気がきつくなるため、この時期に行くのがよいと思う。あわせて、林道管理事業経費の関連で令和4年度に整備された林道も視察に行きたいと考えている。農業担い手づくり育成事業経費についてはどうか。

<片山委員>

馬路町など、熱心に取り組まれている農業法人はどうか。

<木村委員長>

農業法人であれば南丹市日吉町にも先進的な取組をしているところがあるので、決算特別委員会ではなく常任委員会としてぜひ視察に行きたい。今回は亀岡市土づくりセンター、林道及び農業法人の3か所について現地視察を実施することとしてよいか。

(全員了)

### 3 その他

<木村委員長>

次回の日程について、事務局から説明を。

<事務局主査>

事前の勉強会や論点整理には、実際に使用する調書でもって行うのが望ましい。

その調書の提出を待って勉強会や論点整理を行ってはどうか。次回開催日を決定  
願いたい。

<木村委員長>

次回の開催日は、勉強会を8月30日（水）午前9時30分から、論点整理を9  
月13日（水）の議案審査後としてよいか。

（全員了）

～散会 11：27